

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 作業療法士学科 | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---|-------------|---|---------------------|-----------------------------|-----------------|
| 科 目 名 | 情報処理Ⅱ | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 昼間部1年生 | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 大阪ハイテック2F PCルーム |
| 担 当 教 員 | BSC | | | | |
| 実務経験と その関連資格 | | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | |
| この授業では、効果的なプレゼンテーション技法を習得するために、その作成方法を中心に発表の方法までの一連の作業を学習する。さらに実際の卒業研究発表抄録を例とし、卒業研究に直接応用できるように内容を構成している。 | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | |
| 定期試験点70%、課題・小テスト30% | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | |
| イーラーニングテキスト 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。 | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | |
| 自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。 | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | |
| 出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。 | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 授業を通じての到達目標 | 応用的な関数を活用できる2 | Excel応用C 関数応用2 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | VLOOKUP関数/ IF関数/ IFS関数 | | | |
| 第2回 | 授業を通じての到達目標 | データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる | データリテラシー | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 平均、中央値、最頻値、外れ値、欠損値、異常値、データの分類、相関、因果関係、疑似相関、不適切なグラフ表現 | | | |
| 第3回 | 授業を通じての到達目標 | AI(人工知能)に関する正しい情報や知識を身につけ、適正かつ有効に活用できる | AIリテラシー | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 社会でのAI活用事例、AIでできること・できないこと、画像認識体験、AIの欠点や問題点、ディープラーニングの仕組み | | | |
| 第4回 | 授業を通じての到達目標 | AIブームの背景を知り、実際に体験を通して理解することができる | AI機械学習 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | AIブームの歴史、ディープラーニング、教師あり学習、教師なし学習、予測、分類、クラスタリング、機械学習体験 | | | |
| 第5回 | 授業を通じての到達目標 | プレゼンテーションソフトの基本操作ができる | PowerPoint1 基本操作 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | テーマとバリエーション/プレースホルダー/箇条書きのレベル変更/スライド/ノートの作成 | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|---|------------------------|--------------------------------|
| 第6回 | 授業を通じての到達目標 | 図形や画像を活用したスライドを作成できる | PowerPoint2 表現力を上げる | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | ワードアート/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/図形の調整/削除 | | |
| 第7回 | 授業を通じての到達目標 | スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる | PowerPoint3 動きを付ける | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 画面切り替え効果の設定/アニメーション効果の設定/スライドショー/印刷/リハーサル | | |
| 第8回 | 授業を通じての到達目標 | 作成したスライドを使って発表できる(1) | PowerPoint4 発表1 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 発表/評価 | | |
| 第9回 | 授業を通じての到達目標 | 作成したスライドを使って発表できる(2) | PowerPoint4 発表2 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 発表/評価 | | |
| 第10回 | 授業を通じての到達目標 | 何を伝えるかを簡潔に示したスライドの作成の設計ができる | プレゼン基礎1 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | アウトライン作成 | | |
| 第11回 | 授業を通じての到達目標 | レイアウト、配色等、デザインに考慮した図解を作成できる | プレゼン基礎2 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 図解の活用 | | |
| 第12回 | 授業を通じての到達目標 | 表の活用・図表の効果的な表現をすることができる | プレゼン基礎3 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 表・図表の活用 | | |
| 第13回 | 授業を通じての到達目標 | 画像とグラフの効果的な活用ができる | プレゼン基礎4 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 画像とグラフの活用 | | |
| 第14回 | 授業を通じての到達目標 | 効果的なアニメーション効果の設定について理解し活用できる | プレゼン基礎5 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 特殊効果 | | |
| 第15回 | 授業を通じての到達目標 | 後期で習ったことを実践できる | プレゼン試験対策 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | プレゼン復習問題の実施 | | |